

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標 主体的な学び，豊かなまごころ，健やかな体を持ち，地域とつながりよりよい社会と未来の創り手となってたくましく生きる児童を育成する。

目指す児童像

- ・ 進んで勉強する子ども（かしこく：知）
- ・ 思いやりのある子ども ・ 喜んで働く子ども（なかよく：徳）
- ・ 健康で明るい子ども（たくましく：体）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「まごころふれあう城山中央小学校 ～城山を愛し，どこでも生きていける基礎の育歳～」
—よりよい社会と未来を創る児童が仲間と楽しく学び，居がいをを感じる学校づくり—

- ・ 児童が仲間と楽しく学び，居がいをを感じる学校
- ・ 教職員が児童とふれあい，教え育てる喜びを感じる学校
- ・ 保護者や地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校

以上の実現を目指し，学校が家庭や地域と手を携え，まごころふれあう学校経営を展開していく。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1） 児童が仲間と楽しく学び，居がいをを感じる学校づくり
 - ① 児童一人一人が自ら考え活動する主体的な学びの実現を図るため，協働して学びに向かう集団をつくる学級経営の充実を基盤とした教育活動を展開する。
 - ②○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して各教科固有の楽しさを味わい「見方・考え方」を働かせる学習活動により，考えや理由を明確にできる思考力等を育む。
 - ③○児童が人や自然とのかかわりを通して主体的につながる規範意識，思いやりや自然愛護等のまごころを培い，活動の源となる体力の向上に努める。
- （2） 教職員が児童とふれあい，教え育てる喜びを感じる学校づくり
 - ① 課題解決に協働する教職員集団づくり及び主体的に指導力を向上する人材育成に努め，チームとしての学校力を高める。
 - ② 働きがいと豊かな生活の調和を意識しながら職務を遂行できるように，働き方改革を継続する。
- （3） 保護者や地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校づくり
 - ① 歴史と伝統を踏まえ，教育の精神や校風を継承し，GIGA スクールの構想やSDGs等を視野に入れた発展に努める。
 - ② 社会に開かれた教育課程を具現化するために，地域の教育力を生かした教育活動を充実する。
 - ③○学校園教育ビジョン小中一貫教育を推進するとともに，学校園との連携による地域の特色を生かした教育を推進する。

【城山地域学校園教育ビジョン】

ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園

合言葉は「愛」みんなで育てよう！自分を愛し，仲間を愛し，地域を愛する城山っ子

4 教育課程編成の方針

日本国憲法，教育基本法，学校教育法，小学校学習指導要領，栃木県「指導の指針」，「宇都宮市学校教育推進計画」・「宇都宮市学校教育スタンダード」・「指導の重点」に基づき，教育目標達成のための経営方針や努力点，学校評価の反省を十分踏まえて編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- （1） 学校運営 ○児童が仲間と楽しく遊び，居がいをを感じる学校づくり
- （2） 学習指導 ○互いに認め合い，主体的に学ぶ児童の育成
～書く活動を通して自己表現し 生き生きと学び合える 指導の工夫～
- （3） 児童生徒指導 ○思いやりの心を持ち，自主的・主体的に行動ができる児童の育成
～人との関わりを深める活動を通して～
- （4） 健康（体力・保健・食育・安全）
○健康や安全，運動について仲間とともに進んで学び，自分で自分を高めようとする児童の育成
～活動量を確保した体育授業の実践や体を動かしたくなる体育的環境の整備を通して～

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・児童一人一人が考え、自ら活動する主体的な学びの実現 ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、それらを活用する力の育成 ・各教科等の「見方・考え方」を働かせた、学び合いなどの協働的に課題を解決する学習活動の充実 ・探究心をかき立てる体験活動の工夫 ・自分の考えを持ち、書く活動を通して自己表現できる児童の育成。		【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
	児 童											
保護者												
地域住民												
教職員												
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・人権教育の推進 ・人権感覚・人権尊重の態度の育成を目指した指導の充実 ・教師一人一人の意識の高揚 ・人権週間・いじめゼロ運動の効果的な実施 ・望ましい集団・居がいのある学級づくり ・なかよし班活動（縦割り班活動）における「みんなで遊ぶ日」の時間の工夫と充実 ・なかよし班を通じた縦割り班活動の工夫と活性化（まごころ清掃・長縄大会・児童会活動など） ・状況に応じた言葉遣いの励行 ・自然や人との関りの両面から児童の主体性と豊かな心を育て、まごころ教育の推進		【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
	児 童											
保護者												
地域住民												
教職員												
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 88%以上 ⇒保護者の肯定的解答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・折れない心・やり抜く心など心のたくましさに気付かせる授業の展開や実践の工夫 ・各種検定等、児童が目標を持って取り組める機会の確保 ・児童が互いに認め合う場の設定 ・児童の頑張りを認め、校外に発信していけるような取組の充実		【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童												
保護者												
地域住民												
教職員												

1ー（3） 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・自己の基本的な生活習慣を見直し、改善が図れるような指導の工夫と児童や保護者への啓発 ・養護教諭や学校栄養士と連携した保健の授業や特別活動等における食育の実施 ・委員会活動を通じた健康や体力向上、食に関する啓発活動の実施 ・各種たより等を活用した健康や食への関心を高める工夫 ・体育の授業、体育的行事を核とした体力づくりの実践 ・各種検定や全校で取り組む体力向上のための行事の実施 ・元気っ子健康体力チェックの活用 ・地域と連携した登下校時の安全確保 ・交通安全教室や各種避難訓練等の適切な実施	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
1ー（4） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・係や当番等での自分の役割を自覚し、友達と協力して活動できる場の設定 ・宮・未来キャリア・パスポートの振り返りを行う際の、前年度までの情報の有効活用 ・学校活動全般を通じたまごころ教育の充実 ・みんなで遊ぶ日等における「なかよし班活動」と、「兄妹学年での交流活動」の活性化 ・委員会活動全般の工夫	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
2ー（1） グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・外国語科や外国語活動の教材の積極的活用と環境整備 ・コミュニケーション能力の育成を目指した授業内容の工夫 ・学校生活におけるALTとの交流の充実	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
	児 童										
保護者											
地域住民											
教職員											
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・生活科・社会科・総合的な学習の時間（宇都宮学）や校外学習等における指導内容の工夫や改善 ・宇都宮や城山地域など郷土への愛情を育む学習の推進	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
2ー（2） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 95%以上	・学習者用デジタル教科書、AIドリルの活用 ・クロームブック・デジタル機器を活用した授業の展開 ・情報モラル・デジタルシティズンシップ教育に関する授業の展開 ・学習内容の時期に合わせた関連図書の積極的活用	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											

2ー(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・節電・節水・牛乳パックのリサイクル活動の充実 ・「緑の少年団」活動を通じた自然愛の醸成 ・各教科や日常生活の中でのSDGsを意識させる指導の工夫や環境整備 ・土砂災害を想定した避難訓練の実施 ・自然災害を取り上げた学習内容の工夫	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
	児 童										
保護者											
地域住民											
教職員											
3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 95%以上	・個別の指導計画による指導の充実 ・学級との交流や連携を図った指導の推進。 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の開催と共通理解。 ・多様なニーズの理解と支援方法の明確化。 ・学級における配慮児童の「かがやきルーム」の活用、個別の指導計画の作成。 ・ケース会議による指導方針・成果と課題の明確化、及び情報共有。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
3ー(2) いじめ・不登校対策の充実	A 11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	・「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組の推進 ・「いじめ等対策委員会」の活用 ・「いじめゼロ強調月間」及びいじめ撲滅集会の実施 ・定期的なアンケートの実施と教育相談の充実 ・潤いのある学校環境の整備 ・「さん」付けの呼び方の徹底 ・職員間での情報の共有や家庭との連携強化 ・学校たよりやホームページでの周知 ・道徳科の授業の充実	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
	児 童										
保護者											
地域住民											
教職員											
	A 12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	・不登校・不適應等特別な教育的支援が必要な児童への対応（別室登校など） ・日常の観察・教育相談・Q－U調査等の実施による早期発見・早期対応 ・ケース会議等による支援方法の明確化 ・関係機関との連携と紹介 ・職員間での情報の共有 ・児童が互いに認め合う場の設定 ・認め励ます指導の徹底	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											

3- (3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るくいきいきとした雰 囲気である。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	・教育相談・いじめに関するアンケー ト・Q-U調査の実施、活用による、 学級内のよりよい人間関係づくり の推進 ・児童一人一人のよさについて理解 し、認め合い、励まし合う指導の推 進 ・職員間の情報交換の推進・機会の確 保。 ・適切できめ細やかな保護者への連 絡による信頼関係の構築。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
3- (4) 多様な教育 のニーズへの 対応の強化	A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 95%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	・指導技術の確立と授業時数の確保。 ・TT・習熟度別学習の指導等の効果的 実施。 ・学校だより、学習だより、ホームペ ージ等による学習についての情報 提供。 ・クロームブックの有効活用(AI ドリ ルの計画的活用、学習の振り返り) ・個に応じた指導の工夫による、学習 の基礎・基本の定着化 ・宇都宮モデル(はっきり・じっくり・ すっきり)等を取り入れた授業の展 開	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力し て業務に取り組んでい る。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 95%以上	・学校の諸問題への組織的な対応 ・学校行事の準備・運営等への協力 ・若手の先生や職員の得意分野を生 かした組織づくり ・ミライムなど ICT を有効活用した情 報共有による、情報伝達の漏れを防 ぎ、スムーズな連携の促進	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民			
児 童											
保護者											
地域住民											
4- (2) チーム力の 向上	A16 勤務時間を意識して、 業務の効率化に取り組ん でいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・業務内容の明確化 ・学校の組織運営や各種行事等の精 選や実施方法の工夫・改善 ・学習情報システム等の各種システ ムの効果的な活用の推進 ・担当業務の効率的な実施や見通し を持った計画的な処理 ・学級業務支援員の効果的な活用に よる事務負担の軽減。	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民			
児 童											
保護者											
地域住民											
4- (3) 学校におけ る働き方改 革の推進	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組 を行っている。 【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	・小中合同の行事やあいさつ運動へ の積極的な取組 ・小中一貫教育だよりの配付 ・宮っ子チャレンジウィークにおけ る積極的な受け入れ ・冒険活動教室における交流活動の 充実	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											

5－(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A 18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	・地域人材の協力や企業・団体等との連携等、専門性を生かした学習の推進（環境教育） ・学校支援ボランティアの有効な活用の推進 ・地域協議会との連携 （あいさつ標語、登下校の見守り、学校へ泊まろう！等）	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
5－(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A 19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・毎月の安全点検の実施 ・危険箇所等の迅速な報告・修繕 ・消防隊員による実技指導等の職員研修及びその内容の校外への発信。 ・保護者と連携した環境整備等、安全で安心な学校づくりへの取組	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
6－(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A 20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 95%以上	・授業準備や授業、業務の際の、一人一台端末、学校用グループウェア、校務支援システム、デジタル連絡ツールなどの積極的な活用 ・I C T支援員との連携	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
6－(2) 学校のデジタル化推進	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 95%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	・家庭及び地域協議会と連携した地域ぐるみの「あいさつ運動」の展開 ・小中合同の「あいさつ運動」の推進 ・ホームページや、デジタル連絡ツールでの周知	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・基本的生活習慣と規範意識の育成 ・規則の尊重、自律や諸問題の解決を題材とした授業（道徳・学級活動等）の実施 ・「城央小のよい子」を活用した、統一的・継続的な指導 ・家庭・地域・関係諸機関と連携した、安全な登下校体制の維持	【達成状況】 <table><tr><td>児 童</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td></tr></table>	児 童		保護者		地域住民		教職員	
児 童											
保護者											
地域住民											
教職員											

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。